

ストレプトマイセス属由来のネイティブスフィンゴミエリナーゼ

Cat. No. NATE-1160

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 スフィンゴミエリンホスホジエステラーゼは、スフィンゴ脂質代謝反応に関与する加水分解酵素です。**SMase**は**DNase I**スーパーファミリーの酵素の一員であり、スフィンゴミエリン (**SM**) をホスホコリンとセラミドに分解する役割を担っています。**SMase**の活性化は、細胞ストレスに起因したセラミドの生成の主要な経路として提案されています。

用途 この酵素は、アルカリフォスファターゼおよびコリンオキシダーゼと結合した場合に、スフィンゴミエリンの酵素的測定に有用です。

別名 スフィンゴミエリンホスホジエステラーゼ; **EC 3.1.4.12**; 中性スフィンゴミエリナーゼ; **9031-54-3**; スフィンゴミエリンコリンホスホヒドラーゼ; スフィンゴミエリナーゼ; **Smase**

製品情報

由来 ストレプトマイセス属

外形 白から茶色がかった無定形粉末、凍結乾燥された

形態 フリーズドライパウダー

EC番号 EC 3.1.4.12

CAS登録番号 9031-54-3

分子量 37.5 kDa (SDS-PAGE)

活性 > 500 U/mg

等電点 8.6

pH安定性 5.0–8.0

最適pH 7.0–8.0

熱安定性 40°C以下で安定

ミカエリス定数 スフィンゴミエリン $0.45 \times 10^{-3} \text{M}$

活性化因子 Mg^{2+} 、 Mn^{2+} 、非イオン性界面活性剤

阻害剤 EDTA

安定化剤 Mg^{2+}

単位定義 1ユニットは、アッセイ手順で指定された条件下で、37°Cで1分間に1μmoleのスフィンゴミエリンを加水分解する酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法 乾燥剤の存在下で-20°Cでの保管が推奨されます。

安定性 少なくとも1年間、-20°Cで